

(公財) ひょうご震災記念21世紀研究機構

阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター 震災資料専門員 募集要項

1 募集内容

震災資料専門員（会計年度雇用職員） 若干名

【採用予定日】 令和7年10月1日

【雇用期間】 令和8年3月31日まで

勤務状況及び勤務成績により3年を超えない範囲で更新する場合あり

【職務内容】

- ・震災資料及び防災に関する書籍等の収集・整理・保存
- ・震災資料及び防災に関する書籍等についての相談、情報発信
- ・資料室企画展の企画・実施など震災資料の活用（特に震災資料を活用した震災の語り継ぎ）
- ・センターの研究部門、展示部門での震災資料の活用支援 等

2 応募資格

原則として、大学院修士課程修了（見込みを含む）又は同等以上の能力を有すると認められる者（大学卒業程度でも応募可）。学芸員または司書の資格（取得見込みを含む）を持っていることが望ましい。

3 給 与

月額184,600円～202,100円程度（経験等を考慮し、当団体の規定による）

別途、通勤に要する実費（上限あり）、超過勤務手当を支給

4 昇給賞与

昇給あり（採用翌年度更新時に経歴加算あり）

賞与は通年勤務で、年2回（6月・12月）、4.6か月程度。ただし、在職期間による割り落としあり。

5 福利厚生

厚生年金保険、健康保険、労災保険及び雇用保険に加入

6 勤 務 地

阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター※ 資料室（神戸市中央区）

※ 兵庫県が国の支援を受け、平成14年4月に設置し、公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構が運営を行っている施設

7 勤務時間

9：15～17：30（休憩時間1時間を含む。）

8 休日休暇

概ね週4回勤務、シフト制。土、日、祝日出勤あり（月曜日は、祝日を除き、原則休

日。年末年始は休日)

年次休暇(有給休暇、年間10日間。ただし、初年度は5日間。)

特別休暇(夏季休暇、慶弔等)

9 団体概要(雇用者)

公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構(神戸市中央区)

当機構は、阪神・淡路大震災から得た教訓を踏まえ、衆知を活かして南海トラフ地震など将来の大災害に備えるとともに、21世紀の新しい社会の創造に寄与していくことを使命としている。このため、巨大災害への備えや共生社会づくりに関する政策研究を行う「研究戦略センター」、災害ミュージアムでの迫力ある展示と実践的な防災研究や防災人材育成を行う「人と防災未来センター」、災害等に起因するトラウマ・PTSDの研修・調査研究や相談・診察などを行う「こころのケアセンター」の3つのセンターが、その専門性を発揮しつつ、総合的・実践的シンクタンクとして、これからの防災・減災や被災地支援などに取り組んでいる。

■アクセス

阪神電鉄「岩屋」駅、「春日野道」駅から徒歩約10分

JR「灘」駅南口から徒歩15分

阪急電鉄「王子公園」駅西口から徒歩約20分

10 応募方法

以下の書面を、封筒に「震災資料専門員応募書類同封」と朱書きし、書留等発送記録残る方法で、下記問い合わせ先に、令和7年8月4日(月)必着で郵送してください。

- (1) 履歴書(別紙様式によること。写真貼付のこと)
- (2) 研究業績一覧表及び主要論文1編<本編と概要>(卒業・修士論文可)
- (3) 学芸員資格を有することを証明する書類(写し可、有資格者のみ)

※ 応募書類は返却しない。

11 選考方法

- (1) 第1次選考：応募書類による書面審査
- (2) 第2次選考：筆記試験(小論文)及び面接試験(個人面接)
令和7年8月19日(火)に勤務先で実施予定

※ 選考試験に係る交通費・宿泊等は支給しない。

12 その他

人と防災未来センター資料室では、阪神・淡路大震災の記憶を風化させることなく、被災者の思いと震災の教訓を次世代へ継承するため、震災や防災に関する資料を収集・蓄積し、防災情報を市民にわかりやすい形で整理し、発信していく事業を行っています。

震災資料の収集・保存や活用等に関心をお持ちで、意欲のある方々のご応募をお待ちしています。

13 問い合わせ先(提出先)

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5番2号 西館6階

人と防災未来センター 事業課（担当 西岡）

電話：078-262-5068 F A X：078-262-5082

*土曜日、日曜日、祝日を除く午前9時～午後5時30分